

農林だより 令和3年度8月号



長野県下高井農林高等学校 TEL 0269-82-3115 (代)

ホットな情報は、QRコードから

「地域創造農学科」の柱の1つ「コミュニティ農林」の確立!!

新学科における専門科目での学習の柱の1つに、生涯学習の拠点としてのコミュニティ『農林』の確立があります。平たく言うと「今以上に地域みんなが本校に集まり、高校生と一緒に楽しく学べる学校にすること」です。それには、生徒が普段の授業等で学んだことを活用し、地域の保育園児から大人までを対象に、それぞれの年代の学びのニーズに応じた講座の企画を立案し、主体的に運営に携わります。現在も複数のコース等で交流会や開放講座を運営しています。生徒が教員役となって体験内容等を説明する中で、教えることの難しさややりがい、学ぶことの必要性等を実感させてもらっています。参加者の皆様も、体験内容や生徒の真摯な対応に満足され、自然と笑顔になり、何歳になっても新しい知識や技術を得ることの楽しさを再確認されます。そして、「また来年も友達を連れて参加するね」などといった心温まる言葉をかけてくださいます。この心の触れ合いにより、生徒に自然と「地域の良さを多くの人に伝え、活性化させたい」「この素晴らしい郷土を末永く残したい」といった深い郷土愛が芽生えてきます。

新学科でも地域を学びのフィールドとした交流活動を通して、生徒の人間関係力の育成を図るとともに、生涯学習の拠点として、持続可能な地域社会を担うネットワークの構築に寄与するため、次のような力を身に付けられるように生徒全員が講座運営に携わります。

①栽培、加工、ものづくり等に関する学校開放講座の主体的な運営により、地域の魅力を再発見し、人間力、表現力、プレゼン力の向上を図ります。

②異年齢の方々との交流活動、産学官連携による「道の駅」等での各種イベントの企画・運営、行政や地元中学校と連携した地域活性化プロジェクト等の実践により、地域交流を推進する上での社会的信頼を高める手法の習得を図ります。

次号では、3年次に各産業の現場で実際の仕事を体験する「デュアルシステム」について説明いたします。

生涯学習の拠点校：全員が講座運営



クラブ活動紹介：☆美術部



部員は現在、3年生6名、2年生1名、1年生2名の計9名で、月曜日と木曜日の放課後90分程度、美術室において個々のテーマに沿って楽しく絵を描いています。木曜日の放課後は、美術の吉村先生に構図の仕方や色彩などのアドバイスをもらい、それぞれの個性を作品に表現できるように教えていただいています。先月開催された農林祭では、中庭に飾るステージバックを部員が一丸となって制作しました。今年度の農林祭のテーマ「百花繚乱～個性の花を咲かせよう～」にちなみ、花札をデザインのベースに、農林生一人ひとりの個性が開花するようにとの願いを込め、巨大ベニヤ板8枚にペンキで色を塗り重ねていきました。また、農林祭では個人作品も展示し、それぞれの想いがつまった作品を保護者の皆様に見ていただくことができました。